

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

1	29-1	平成29年5月24日	審議
申請者	副看護師長	戸田 喜久	
研究課題等	衝動行為を通してしか関わりを持たない事例Aへの入院治療が効率的に行えた要因の検討		
研究等概要	事例検討を通じて、今後の効果的な看護介入や他職種との連携を考察する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

2	29-2	平成29年5月24日	審議
申請者	児童精神科医師	藤田 梓	
研究課題等	「浜松方式」導入後の医療・教育機関との連携の現状と課題		
研究等概要	「浜松方式」導入後において、当院に入院した患者を対象にして診療録を用いて入院患者の動向を後方視的に調査・診断し、考察を含めて学会発表する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

3	29-3	平成29年5月24日	審議
申請者	心理療法士	岡本 和子	
研究課題等	児童精神科入院病棟における親への集団療法のニーズと効果の検証		
研究等概要	「りゅりゅタイム」参加の前後で心理検査を実施し、その効果を検証することを目的として「りゅりゅタイム」に関する負担、効果、親のニーズを調査するアンケートを全4回の終了時に実施する。本研究の結果は他の医療機関に公表し、診療内容の向上に繋げる。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

4	29-4	平成29年6月28日	審議
申請者	呼吸器・アレルギー科医師	井上 裕介	
研究課題等	リファンピシンとクラリスロマイシンが薬物代謝酵素CYP3A1に与える影響の検討		
研究等概要	非結核性抗酸菌症でクラリスロマイシンとリファンピシンを投与される患者を対象に、投与時の薬物代謝酵素チトクローム活性を評価することで、リファンピシンとクラリスロマイシンが薬物代謝酵素CYP3A1に与える影響を検討する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

5	29-5	平成29年6月28日	審議
申請者	呼吸器・アレルギー科医師	井上 裕介	
研究課題等	T790M陽性非小細胞肺癌におけるPD-L1タンパク発現のオシメルチニブにおける効果予測因子としての役割:前向き観察研究		
研究等概要	T790M陽性非小細胞肺癌におけるPD-L1発現とオシメルチニブの効果との関連を検討するための観察研究と、PD-L1/PD-L1抗体を使用した症例における有効性とPD-L1発現との関連について探索的に評価する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

6	29-6	平成29年6月28日	審議
申請者	看護師	村松 泰明	
研究課題等	神経難病患者の呼吸器合併症予防における看護ケアの現状の調査		
研究等概要	当該病棟内において、ADLすべてに介助が必要となる神経難病患者の看護を主に実践している神経難病患者の呼吸器合併症を予防するため、呼吸状態アセスメントおよび体位ドレナージの取り組みの現状を明らかにし、今後の課題や改善策を考察する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

7	29-7	平成29年6月28日	審議
申請者	副看護師長	高柳 裕子	
研究課題等	麻疹・風疹・水痘・ムンプスにおける抗体測定検査の再現性についての調査		
研究等概要	職員の血清を使用して職員健診対象者に対して、麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体測定検査を実施し、その中から再検査対象者を選定し、同じ血清を用いて2回目の麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体測定検査の再現性について調査する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

8	29-8	平成29年7月25日	審議
申請者	呼吸器・アレルギー科医長	大場 久乃	
研究課題等	1型アレルギーの有無による慢性肺アスペルギルス症の経年的肺機能低下に関する多施設共同前向き観察研究		
研究等概要	1型アレルギーの有無によるCPAの経年的肺機能低下や画像所見、臨床経過について比較検討し、CPAにおける1型アレルギーの関与を明らかにすることに関して多施設と共同前向き観察研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

9	29-9	平成29年7月25日	審議
申請者	看護師	鈴木 貴博	
研究課題等	地域の救護病院としての役割を担う当院における災害訓練の取り組みと課題		
研究等概要	当院は静岡県医療救護計画により救護病院に定められていることもあり、当院が災害時にどのような備えて、今後何ができるのかを整理し、年次経過によって病院内の体制がどのように変化していくのかを明らかにする。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

10	29-10	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	進行期非小細胞非扁平上皮肺癌患者に対するシスプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ導入化学療法後のベバシズマブ+ドセタキセル維持療法の有用性を検討する第Ⅱ相試験		
研究等概要	上皮肺癌を除く未治療の進行または術後再発非小細胞肺癌に対するシスプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ併用導入化学療法後のベバシズマブ+ドセタキセル併用療法の有用性と安全性を検討する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

11	29-11	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	EGFR遺伝子変異を有する高齢者進行期非扁平上皮非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブとベバシズマブの併用療法 多施設共同第Ⅱ相試験 HSR1501		
研究等概要	高齢者未治療ⅢB/Ⅳ期または術後再発の非扁平上皮非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブとベバシズマブの併用療法の有用性と安全性を検討する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

12	29-12	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	進行再発扁平上皮肺癌に対するカルボプラチン+アルブミン懸濁パクリタキセル併用導入療法後のエスワン維持療法 第Ⅱ相試験 HSR1502		
研究等概要	20歳以上の進行再発扁平上皮肺癌患者症例を対象として、1次療法: CBDCA+nab-PTXを3週1コースとして4コース行い、1次治療で病勢コントロール(SD以上)が得られた症例に、維持治療としてS-1を投与する多施設共同第Ⅱ相試験を行う。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

13	29-11	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	高齢者進行期非小細胞非扁平上皮肺癌患者に対するカルボプラチンとペメトレキセド併用療法とペメトレキセドとベバシズマブ併用療法の有用性を検討する第2相試験HSR1402		
研究等概要	76歳以上の進行期非小細胞肺癌患者症例を対象として、静岡県内13の総合病院施設が参加する多施設共同研究により第Ⅱ相試験を行う。適合条件を満たし、文書による試験参加の同意が得られた症例を対象として2アームの治療法を比較検討する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

14	29-14	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	限局期小細胞肺癌症例における予防的全脳照射の有用性についての前向き観察研究		
研究等概要	2013年、静岡県内4の病院連携で行った限局期小細胞肺癌124例を後ろ向きに集積／解析しPCI施工時と非施工時の中で脳転移出現率／生存期間がほぼ同等であるという共同研究結果を確認するため、限局期小細胞肺癌患者症例におけるPETの有効性についての前向き観察研究を静岡県内14病院で連携した共同研究行う。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

15	29-15	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	免疫チェックポイント分子標的薬が気道炎症に与える影響		
研究等概要	免疫チェックポイント分子標的薬の開始及び中止が気道炎症及び肺機能検査に与える影響を検証する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

16	29-16	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	進行または再発非小細胞肺癌に対するニボルマブの有効性予測バイオマーカーの探索研究		
研究等概要	ニボルマブ投与患者の検体を用いてPD-L1／PD-L2の発現及び遺伝子コピー数の評価、血液中の加溶性PD-L1の濃度、末梢血白血球プロファイルを測定・評価し、ニボルマブの有効性を予測するバイオマーカーの探索研究を行う。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

17	29-17	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	間質性肺炎合併非小細胞肺癌における二次治療としてのS-1療法 第Ⅱ相試験		
研究等概要	StageⅢB、Ⅳもしくは術後再発で化学療法による治療歴がある間質性肺炎合併肺癌患者症例を対象として、二次治療におけるS-1の有効性と安全性を評価する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

18	29-18	平成29年8月23日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	T790M陽性非小細胞肺癌におけるPD-L1タンパク発現のオシメルチニブにおける効果予測因子としての役割:前向き観察研究		
研究等概要	T790M陽性非小細胞肺癌におけるPD-L1タンパク発現とオシメルチニブにおける有効性予測因子としての役割を明らかにすることを目的として前向き観察研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

19	29-19	平成29年8月23日	審議
申請者	呼吸器・アレルギー科医師	伊藤 靖弘	
研究課題等	リファンピシンとクラリスロマイシンが薬物代謝酵素CYP3A1に与える影響の検討		
研究等概要	非結核性抗酸菌症(肺MAC症)でリファンピシンとクラリスロマイシンを投与される患者を対象に、リファンピシンとクラリスロマイシンの投与時の薬物代謝酵素チトクロームP450 3A活性を評価する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者の変更による審議		

20	29-20	平成29年8月23日	審議
申請者	児童精神科部長	山村 淳一	
研究課題等	児童精神科の入院治療効果に影響を与える要因		
研究等概要	児童精神科の入院治療効果に影響を与える要因と治療効果の評価方法を検討することで、児童精神科入院治療の課題を明らかにする。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	申請者変更および研究期間変更による審議		

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

21	29-21	平成29年9月12日	審議
申請者	呼吸器・アレルギー科医長	大場 久乃	
研究課題等	クラリスロマイシン耐性の肺MAC症に対するスルファメトキサザール・トリメプリム製剤(Bakter®)の有効性に対する検討		
研究等概要	クラリスロマイシン耐性肺MAC症患者の既存治療にST合剤を追加投与することで、臨床的および細菌学的効果が確認することができれば、非常に有効な治療法が示唆され得るため、その有効性を検討する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

22	29-22	平成29年9月27日	審議
申請者	看護師	高木 利哉	
研究課題等	神経難病患者の体位ドレナージ計画シート・呼吸状態観察フローシートを活用した効率的な体位ドレナージ実施への取り組み		
研究等概要	看護師における呼吸器合併症予防の定着・体位ドレナージの取り組みに関し、看護実践の中で効果的な排痰を促し、今後の神経難病患者の呼吸器ケアの推進に繋げることを目的とした研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

23	29-23	平成29年11月29日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	サルコペニアと慢性呼吸器疾患の関わり		
研究等概要	慢性呼吸器疾患におけるサルコペニアが疾患重症度や予後に与える関わりを明らかにすることを目的として多施設と共同観察研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

24	29-24	平成29年11月29日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	肺MAC症の治療開始6ヶ月後排菌陽性ならば、難治性と考えるべきか		
研究等概要	多剤併用療法が基本である肺MAC症の治療開始後6ヶ月において 痰培養を観察終了時の排菌結果と比較検討し、6ヶ月後の排菌状況が陽性ならば、難治性であるか明らかにすることを目的として後方的解析研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

25	29-25	平成29年11月29日	審議
申請者	呼吸器・アレルギー科医師	伊藤 靖弘	
研究課題等	CAMとEBによる二者治療は肺MAC症のCAM耐性を誘導するか		
研究等概要	クラリスロマイシン(CAM)とエタンブトール(EB)による二者治療が行われた患者において、三者医療が行われた患者と比較し、CAM耐性が多くなっていないかどうか明らかにすることを目的として後方的解析研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

26	29-26	平成29年11月29日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	潜在性結核感染症治療実態に関する研究		
研究等概要	日本における潜在性結核感染症治療の実態を明らかにすることを目的として多施設と共同集計研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

27	29-27	平成30年12月18日	審議
申請者	耳鼻咽喉科医師	遠藤 志織	
研究課題等	14%酢酸アルミニウム液製剤		
研究等概要	入院患者において、耐性菌培養にて検出されている慢性中耳炎患者の感染コントロールを行うことを目的として「14%酢酸アルミニウム液」を院内製剤して使用する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

28	29-28	平成30年1月24日	審議
申請者	看護師	鈴木 貴博	
研究課題等	Nominal group法を用いた重症心身障害児者病棟看護師の考える病棟患者が携帯するヘルプカードへの短期入所に必要な最低限記載すべき情報の検討		
研究等概要	ヘルプカードに記載されるべき病院や施設に入所する際最低限必要な情報を重心障害児者患護に精通する看護師達がコンセンサスメソッドであるnominal group法を使用しコンセンサスを得ることで決定していく量的記述研究を実施する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	0		

平成29年度 天竜病院倫理審査委員会(臨床研究)概要

29	29-29	平成30年2月28日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	EGFR遺伝子変異を有する高齢者進行期非扁平上皮非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブとペバシズマブの併用療法 多施設共同第Ⅱ相試験 HSR1501		
研究等概要	高齢者未治療ⅢB/Ⅳ期または術後再発の非扁平上皮非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブとペバシズマブの併用療法の有用性と安全性を検討する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	期間延長による審議		

30	29-30	平成30年3月28日	審議
申請者	副院長	白井 正浩	
研究課題等	肺マイコバクテコンプレックス(MAC)症患者における不安とQOLに関する検討(縦断調査)		
研究等概要	肺MAC症患者の心理社会的側面に注目し、患者を縦断的に観察し不安とQOLの変化を検討することで、疾患と治療が患者に与える影響について明らかにすると共に、治療においてどのようなアプローチが有効であるかについての検討が可能となり、アプローチを含めた包括的な患者への支援を提案できるベネフィットがあると考ええる。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考	期間延長による審議		

31	29-31	平成30年3月28日	審議
申請者	児童精神科医師	藤田 梓	
研究課題等	児童思春期病棟における隔離施行時間に影響する患者特性		
研究等概要	児童思春期病棟における隔離拘束施行時間の実態、および施行時間に影響する患者特性を探究する。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			

	29-32	平成30年3月28日	審議
申請者	看護師	木村 有花	
研究課題等	児童・思春期精神科病棟における行動制限中の看護介入の現状と評価		
研究等概要	現状当院で行っている神経発達障害患者の行動制限中の看護介入の現状について検討し、今後の治療において行動制限最小化に繋がる看護介入を目的にする。		
判定	承認	本申請は承認された。	
備考			